

学力・学習状況調査の目的と配慮点

学力・学習状況調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる事です。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが求められています。

一方で、学力は「生きる力」を子どもたちに育むため、「何ができるようになるか」「何のために学ぶのか」を明確にし、「①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力・人間性等」という三つの側面にとらえながら、学校教育活動全体（授業及び授業以外）で発揮されるものです。この学力を調査のみで測定することは容易ではなく、学力・学習状況調査で導き出された結果は学力の一部であることに配慮する必要があります。

○学力・学習状況調査の結果（英語）は [こちら](#)

○国語・数学の結果は [こちら](#)